

子ども連れに優しい
街に愛される インドカレーの名店

ここがアガる↑
初心者パパの初お外ランチも安心!

店名の「ピアーズ」の由来である玉ねぎをふんだんに使った絶品カレー

壁には地域の子どもたちからのお礼の手紙が

ここがアガる↑
大宮の料亭文化を継承する老舗で味わうすっぽん鍋

極上 すっぽん鍋

滋養たっぷりのすっぽん鍋。金色の卵が入っているのはメスだそう



広い店内はベビーカーでもラクラク。
荷物が多くなりがちなパパやママも安心です



店主のダカル・ラクシミさん

お客様も、地域の人もみんなをハッピーに！

「つらい」ということがあっても、「ここのカレーを食べるとハッピーになれるお店を目指したい」とダカルさんは語ります。実は、私の息子の初めてのインドカレーもピアーズでした。ナンを頬張り、キラキラした目で喜ぶ息子を見て、私自身も「ハッピーになりました。

店主のダカル・ラクシミさんは、ネパールから来日し、13年前にお店をオープン。当時、子育て中だったことから、子ども安心して暮らせるまちとしてさいたま市を選んだとのこと。

ピアーズでは地域の声を聞きながらサービスを増やしてきたそうです。また小学生によるインタビュー企画への協力や障害児施設のイベントへのお弁当提供も行っています。壁には地域から寄せられたお礼の手紙がたくさん飾られ、家族連れてにぎわう様子は口コミで有名店になった理由を物語っています。

駐車場が6台分あり、ワンボックスカーも安心して駐車可能。広々とした店内はベビーカーでの入店も楽々で、ベビーチェアの貸出や子ども用のスプーン、プラスチック食器も完備。メニューには甘くて食べやすい子ども用カレーもあります。パパと子どもの初ランチも安心ですね。

また市を選んだとのことです。

「料亭の格式の高いイメージを払拭し、皆さまに美味しい料理を味わっていただきたい」と平日昼間限定の小窓石も用意。ゆくゆくは高級グルメガイドへの掲載を目指すこと。私たちも応援し続けましょう。

インバウンド需要が高まる今、「日本の料亭文化を大切に継承し、世界に広めたい」と話す5代目社長の小田晋一朗さん。「料亭の格式の高いイメージを払拭し、皆さまに美味しい料理を味わっていただきたい」と平日昼間限定の小窓石も用意。ゆくゆくは高級グルメガイドへの掲載を目指すこと。私たちも応援し続けましょう。

夢は三ツ星！
料亭文化を継承する5代目

焼の鍋が、ぐつぐつ、と熱く煮立ったまま運ばれてきます。

エンペラとは、すっぽんの甲羅の下にあらぬところを見せて、そこを見せてもらえてうれしいです。

エンペラとは、すっぽん効果を実感できました。この日は自覚めスッキリ！気のせいか化粧して人気スポットになりました。

(参考:埼玉県HP)。1885年に待望の大宮駅が完成したことによって開発し、東京を観光客を誘致する取組が行われました。大宮公園(開園当初は氷川公園)は、狩りやススキ観賞などの風流が好まれ、熱海と並ぶ東京の奥座敷として人気スポットになりました。

明治時代、大宮を観光地として多くの文豪たちも訪れた。料亭文化が花開くも、昨今は減少傾向となっています。

現在、大宮公園近くで奮闘中の「料亭 大宮一の家」。武藏・宮冰川神社の「」の字を頂戴し、明治18年に創業。森鷗外の『青年』にも登場する老舗です。



5代目小田晋一朗社長

わたし 取材しました！

市民ライター
眼鏡パパさん(岩槻区在住)

東京下町出身、さいたま市在住3年目。妻と1歳半の息子の3人家族で過ごす休日が最高の楽しめます。

わたし 取材しました！

市民ライター
ピアーズ 東浦和店

JR東浦和駅から徒歩約10分
①11:00~15:00、17:00~22:30
②年中無休
③048-874-1877



わたし 取材しました！

市民ライター
KUMIさん(北区在住)

めざせ！薔薇色の人生を座右の銘に、好奇心のおもむくまま、日々楽しいことを探しに出かけています。

【HP】[さいたま市大宮区高鼻町2-276](#)
【Instagram】[@saikanet](#)

DATA
JR大宮駅東口から徒歩18分
①11:30~15:00(最終入店13:00)、
17:00~22:00(最終入店20:00)、
土曜日11:30~21:00(最終入店19:00)、
日曜日11:30~17:00
③定休日/月曜日(その他月1回休業日あり)
④8台
⑤048-644-0165

DATA
QRコード